

Title	近代日本と慶應スポーツ：福澤諭吉以来の健康観・スポーツ観の特質と意義について
Sub Title	Keio sports and modern Japan
Author	山内, 慶太(Yamauchi, Keita)
Publisher	福澤基金運営委員会
Publication year	2022
Jtitle	福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金事業報告集 (2021.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>第3年度目にあたる2021年度も、慶應義塾のスポーツ史に関する資料の収集・分析を引き続き行った。本年度も、当初想定していた個人及び記念館所蔵の資料の出張調査は、新型コロナ流行の為に実施出来なかった。しかしながら、義塾で今まで収集していなかった昭和初期の野球雑誌等を収集調査することで、義塾野球部の特質を検討することが出来た。なお、都倉が中心となって、「エンジョイベースボール」を提唱した前田祐吉監督に関して、同時代の部員等からの聞き取り等も行い、腰本寿、三宅大輔、前田と受け継がれた、義塾の野球の特質をより浮き彫りにすることが出来た。また、義塾蹴球部草創期の中心メンバーであった松岡正男に関する一連の資料を入手出来たことも特筆すべきことである。また、福澤諭吉以来の健康観を考える上で不可欠な北里柴三郎博士に関しても、特にその周囲の医師、中でも従来余り注目されていなかった医師らについて検討を進めることで、北里の人物像をより立体的に把握することにも努めた。</p> <p>本研究プロジェクトの成果の一端は、2022年度の福澤諭吉記念慶應義塾史展示館において開催の企画展「慶應野球と近代日本」において紹介することになっており、その為の準備も合わせて進めた。また、2017年に研究代表者・分担者が中心となって実施した「近代日本と慶應スポーツ」展と3年間に及ぶ本家級プロジェクトの成果の一部は、豊富な写真資料と関連資料、解説で構成する図録として出版する予定であり、その為の具体的な編集作業にも着手した。</p> <p>一部の資料等は撮影しデジタル化すると共に、収集した資料は順次、本塾福澤研究センターに収蔵することにして、今後の展示と研究への活用を進めることにしている。</p> <p>In FY2021, the third year of the project, we continued to collect and analyze materials related to Keio Sports history. This year, due to the COVID-19 pandemic, we were not able to conduct the originally planned on-site survey of private collections and regional museum collections in various parts of Japan. However, we examined the characteristics of Keio Baseball by collecting and researching baseball magazines and other materials from the early Showa era. Interviews were also conducted with members of the baseball team when Yuukichi Maeda, who advocated Enjoy Baseball, was the manager. It should also be noted that many materials related to Masao Matsuoka, who was a key member of the Keio rugby team in its early days, were obtained. Based on this research project, an exhibition titled "Keio Baseball and Modern Japan" will be held at the Fukuzawa Memorial Keio History Museum in FY2022. Also, A book consisting of many photographs, related materials, and commentary will be published.</p>
Notes	申請種類：福澤基金研究補助
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12003001-20210002-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	看護医療学部	職名	教授	補助額	1,500 千円
	氏名	山内 慶太	氏名 (英語)	Keita Yamauchi		
研究課題 (日本語)						
近代日本と慶應スポーツ—福澤諭吉以来の健康観・スポーツ観の特質と意義について—						
研究課題 (英訳)						
Keio Sports and Modern Japan						
研究組織						
氏名 Name		所属・学科・職名 Affiliation, department, and position				
山内慶太 (Keita Yamauchi)		看護医療学部・教授				
都倉武之 (Takeyuki Tokura)		福澤研究センター・准教授				
神吉創二 (Soji Kanki)		幼稚舎・教諭				
石田浩之 (Hiroyuki Ishida)		スポーツ医学研究センター・教授				
1. 研究成果実績の概要						
<p>第3年度目にあたる2021年度も、慶應義塾のスポーツ史に関する資料の収集・分析を引き続き行った。本年度も、当初想定していた個人及び記念館所蔵の資料の出張調査は、新型コロナウイルス流行の為に実施出来なかった。しかしながら、義塾で今まで収蔵していなかった昭和初期の野球雑誌等を収集調査することで、義塾野球部の特質を検討することが出来た。なお、都倉が中心となって、「エンジョイベースボール」を提唱した前田祐吉監督に関して、同時代の部員等からの聞き取り等も行い、腰本寿、三宅大輔、前田と受け継がれた、義塾の野球の特質をより浮き彫りにすることが出来た。また、義塾蹴球部草創期の中心メンバーであった松岡正男に関する一連の資料を入手出来たことも特筆すべきことである。また、福澤諭吉以来の健康観を考える上で不可欠な北里柴三郎博士に関して、特にその周囲の医師、中でも従来余り注目されていなかった医師らについて検討を進めることで、北里の人物像をより立体的に把握することにも努めた。</p> <p>本研究プロジェクトの成果の一端は、2022年度の福澤諭吉記念慶應義塾史展示館において開催の企画展「慶應野球と近代日本」において紹介することになっており、その為の準備も合わせて進めた。また、2017年に研究代表者・分担者が中心となって実施した「近代日本と慶應スポーツ」展と3年間に及ぶ本家級プロジェクトの成果の一部は、豊富な写真資料と関連資料、解説で構成する図録として出版する予定であり、その為の具体的な編集作業にも着手した。</p> <p>一部の資料等は撮影しデジタル化すると共に、収集した資料は順次、本塾福澤研究センターに収蔵することにして、今後の展示と研究への活用を進めることにしている。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>In FY2021, the third year of the project, we continued to collect and analyze materials related to Keio Sports history. This year, due to the COVID-19 pandemic, we were not able to conduct the originally planned on-site survey of private collections and regional museum collections in various parts of Japan. However, we examined the characteristics of Keio Baseball by collecting and researching baseball magazines and other materials from the early Showa era. Interviews were also conducted with members of the baseball team when Yuukichi Maeda, who advocated Enjoy Baseball, was the manager. It should also be noted that many materials related to Masao Matsuoka, who was a key member of the Keio rugby team in its early days, were obtained. Based on this research project, an exhibition titled "Keio Baseball and Modern Japan" will be held at the Fukuzawa Memorial Keio History Museum in FY2022. Also, A book consisting of many photographs, related materials, and commentary will be published.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
都倉武之	学校史展示における節度と積極性—福澤諭吉記念慶應義塾史展示館開設における模索—	近代日本研究	2022年2月			
山内慶太	福澤諭吉をめぐる人々(その55) 田端重晟	三田評論	2021年4月			